

☆ 生き生き ☆ 緑の子 ☆

知識を活かして互いに学び、自ら未来に挑戦する緑っ子！

令和6年11月20日

11月号

文責：小川 高哉

もうすぐ12月、朝晩寒い日が多くなってきました。現在、風邪症状で欠席する児童が多いです。一時期はマイコプラズマ肺炎も散見されましたが、ピークを過ぎたように見えます。

今後インフルエンザの流行も予想されます。ご家庭でも手洗いやうがい、十分な睡眠等体調管理に努めていただけるようお願いいたします。

☆「家庭学習の手引き」は活用できますか？☆

今年度の重点取組の一つに「自主的な家庭学習習慣の育成」を掲げています。そのため、今まで以上に「家庭学習の手引き」の活用をお願いしています。

1学期末に実施したアンケートでは、72%の児童が活用していると肯定的な回答をしている一方で、保護者の皆さまからの肯定的回答は53%となっています。より実態に近いのは後者の数字ではないかと推測します。

今年度の育成を目指す資質・能力の一つを『自立性』としています。自己の学習状況を客観的に捉え、やるべきこと等を明確にし、見通しをもって計画的にやり遂げようとする「自立した学習者」の育成を目指しています。『自立性』は学習のみならず、生

活全般で必要になります。また社会人として自身の仕事を組み立てていくときに重要な能力となることに論を待たないと思います。

子どもたち自身が自分の生活をふり返り、どんなことを勉強していくかを考えて学習に取り組むよう声かけをお願いいたします。

3学期が始まりすぐの1月10日(金)は3～6年生を対象とした別府市学力調査(国・算・理)があります。今年度の学習状況についてふり返る良い機会です。

☆家庭で学校のiPadを使う際の注意点☆

お子さまがiPadを持ち帰った際に注意していただきたい点をお知らせしておきます。

(1)「カメラアプリ」の使用制限

調べ学習や交流活動など様々な場面で「カメラアプリ」や「スクリーンショット」などの機能を使用することがあります。その際に『授業の必要のない写真や画像を撮る、またはダウンロードする』ことを禁止しています。家庭での学習でも同様をお願いします。

(2)BluetoothやWi-Fi機能を用いた

「通信」によるアプリの使用制限
「通信」と言っても、様々な方法や用途で他者と繋がれるiPadですが、主に『Airdropやロイロノートによる送受信に関して、教師の指導下でのみ使用を許可』しています。よって家庭でもその学習に必要なアプリを使用しないようにしてください。

(3)「使用時間帯」の制限

便利な道具であるiPadですが、校内でも児童が好きなタイミングで使ってよいとするのではなく、『使用する時間帯を授業中及び教員が許可した時間のみと限定』しています。あくまで学習用具の一部という位置づけです。家庭でも学習の時間のみ使用させてください。

(4)「保管場所」の限定

iPad端末は、学習用具の一つであると同時に、精密機械でもあります。充電環境や故障リスクの少ない場所として学校では『基本的にiPad保管庫に置く』ようにしています。家庭でもお家の方の目の届く未使用時の置き場所を指定するようお願いします。

以上の通り、学校でも家庭でも同じルールのもとでiPad端末を活用していくことで有効な学習用具といたく、ご理解とご協力をお願いします。